

令和7年度札幌文化奨励賞 受賞者 主な経歴

氏名	さっぽろ人形浄瑠璃あしり座（さっぽろにんぎょうじょうりあしりざ）
経歴	<p>平成7（1995）年 2月人形浄瑠璃講習会受講者15名を中心に「やまびこ座人形浄瑠璃研究会」を発足</p> <p>平成8（1996）年 4月UNIMA（国際人形劇連盟）日本センター総会にて「傾城恋飛脚～新口村の段」上演</p> <p>平成11（1999）年 中高生のための人形浄瑠璃講習会を開始。講師補助として携わる。</p> <p>平成11（1999）年 「第九回全国人形芝居サミット&フェスティバル」（兵庫県淡路島）へ上演参加</p> <p>平成14（2002）年 「さっぽろ人形浄瑠璃研究会」から「さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座」へ名称変更</p> <p>平成19（2007）年 10月「第22回国民文化祭・とくしま2007」人形浄瑠璃部門に招待参加</p> <p>平成20（2008）年 8月「世界人形劇フェスティバル（いいだ人形劇フェスタ）」（長野県） 「受け継がれていく伝統人形芝居 in いいだ」招待参加</p> <p>平成23（2011）年 東日本大震災被災地において支援公演やワークショップなど文化支援活動を展開 (現在に至る)</p> <p>平成25（2013）年 初の海外公演（韓国・ハンガリー・スロバキア）を実施</p> <p>平成26（2014）年 11月第3回北の聲アート賞「ハルニレ賞（特別賞）」受賞</p> <p>平成26（2014）年 12月札幌劇場祭2014「審査員奨励賞」受賞</p> <p>平成27（2015）年 あしり座二十周年記念公演を札幌市教育文化会館大ホールで実施</p> <p>平成28（2016）年 北海道発のオリジナル新作人形浄瑠璃「大黒屋光太夫ロシア漂流記」を制作・発表 (平成31年に全五段が完成)</p> <p>平成30（2018）年 2月海外公演「札幌市・ノボシビルスク国際交流事業」を実施。</p> <p>令和元（2019）年 5月 海外公演「日露地域交流フェスティバル」（ロシア・サンクトペテルブルク）を実施</p> <p>令和元（2019）年 海外公演（ヨーロッパ、タイ）を実施</p> <p>令和2（2020）年 「日露地域交流年」事業（ロシア・サンクトペテルブルク）に北海道の推薦を受け公演</p> <p>令和5（2023）年 4月「さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座」から「さっぽろ人形浄瑠璃あしり座」に名称変更</p> <p>令和6（2024）年 5月「ソウルフレンドシップフェスティバル2024」（韓国）に北海道の推薦を受け公演</p> <p>令和7（2025）年 2月あしり座三十周年記念公演・北海道発オリジナル人形浄瑠璃「大黒屋光太夫ロシア漂流記」通し狂言を札幌市教育文化会館大ホールにて上演</p>
現在	北海道には数少ない伝統人形芝居を一人でも多くの方々に観劇してもらい、古典芸能の魅力を子どもから大人まで広く道民に伝えようと人形浄瑠璃の普及に努めている。